

備・参画手続により、まちづくりを進めてまいります。



【みんなでまちづくり会議スピノフ企画】  
大学生と若手職員でこれからの草加を話しました

多忙でオンサイト会議への出席が難しい働く世代や子育て世代などの参画を促すためにも、オンライン方式による会議の開催などの工夫をしながら、より積極的に市民の皆様との対話の場を整備してまいります。

また、同条例第29条に基づき市民検証委員会を開催し、条例の目的にかなった取組が行われているかを検証してまいります。

さらに、次世代を担う子どもたちに「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」を理解してもらうため、副読本を作成し、市内小学校に配布します。



みんなでまちづくり副読本Vol.3

行政のパートナーとして魅力ある地域づくりを行っていただいている町会・自治会につきましては、引き続き活動支援と加入促進を進めるとともに、町会等が存在しない地域において、新たな町会の設立に向けた支援を実施してまいります。

実際のまちづくりの一環としては、谷塚駅西口地区における「谷塚駅西口地区まちづくり権利者協議会」との協

働による利便性や防災機能向上、良好な住環境づくりの構築を目指し、令和6年度までの基本計画策定に向けて取り組んでまいります。さらに地域で活動を行っている方々との連携による社会実験の実施など、地域一丸となつてのまちづくりを目指します。

### 市民活動・支え合い

次に、「市民活動・支え合い」に関する取組について申し上げます。

草加で共に生きる方の中には、ロシア連邦によるウクライナ侵攻から逃れてきた方もいらっしゃいます。市内に住まう避難民の方については、今後も医療費の支給や公営住宅の提供等の支援を継続して行います。

また、障がいのある方々がこれまで以上に暮らしの豊かさや地域社会とのつながりを実感できる「福祉プラスのまちづくり」として、地域における障がい者の社会参加促進等につながる取組を実施し、お互いが尊重し支えあう共生社会の実現に向けた取組を進めてまいります。



福祉+プラスのまちづくり講演会

### 女性の積極的な登用

また、特定の重点テーマには位置づけられませんが、市政運営にあたり、女性の積極的な登用を推進してまいります。意欲・能力のある女性職員を管理職等に登用を図る上では、様々な事情をもつ方でも仕事と家庭の両立が図れるよう、できる限り寄り添いながら、適切な人物にその任を担ってもらえるようにしてまいります。

以上が令和5年度に取り組んでいく

主な事業でございます。

また、本市の取り組む全ての分野を網羅した最上位計画である、第四次草加市総合振興計画は、平成28年度の策定から、本年で8年目を迎えます。

本市を取り巻く社会情勢が大きく変化する中で、令和6年度から始まる第三期基本計画につきましては、これまでの成果や課題などを踏まえ、時代の変化に対応した計画となるよう、策定作業を進めてまいります。

### むすびに

私は、先月9日、獨協大学35周年記念館アリーナにおいて開催された「二十歳のつどい」に参加し、皆様のこれからの人生へのエールを送るとともに、是非、草加の未来に向けたまちづくりに、力を貸していただきたいです、とお願いをさせていただきました。



二十歳のつどい

市長就任以来、私は、「だれもが幸せなまち 草加」を市のステートメントとして掲げてきておりますが、何をもちって幸せと感じるかについては人それぞれかと思えます。

私が考える幸せとは、「周りから大切にされていること、愛されていることを実感し、自分自身をかけがえのない大切な愛すべき存在だと感じられること」「自分が属する社会の一員として、その社会に貢献している、その社会をつくり上げている一人だと感じられること」また「自分の可能性が最大限に開花されること」などであると考えています。

私は、市民のお一人おひとりが、このような幸せを感じるまちづくりをしていきたいと考えています。そのためには市民の皆様、市議会の皆様のお力が欠かせません。市民自治の原則にのっとり、様々な機会を捉えた対話を通じて市民の皆様とのつながりを深め、一緒にまちづくりを進めていきたいと思えます。

そして、本市の魅力を常に発信することで、これからの将来、人口減少により自治体間競争がさらに激しくなる中においても、選ばれるまちとなっていくことが重要であると考えます。市の持続可能性を高めるためにも、子育て世代の皆様を選んでいただけるよう、インパクトとメッセージ性の高い手法を検討しながら、子育てや子育て・教育に係る直接的・間接的な政策に関する発信力を高めてまいります。

また、庁内においても草加の未来を見据え、全庁一丸になって取り組む活力を生み出していくことも大切であると感じています。部局の垣根を越えた職員の交流を促進し、若手職員が積極的に業務の改善や事業の企画提案を行えるような雰囲気づくりにも努めてまいります。

5月の連休明けには新庁舎への移転が行われ、新しい環境での市政運営がスタートします。明るく希望に満ちた草加の未来に向けた大きな一歩を、皆様と共に踏み出すことを期待しています。

最後になりますが、本市の発展のため、市民の皆様、市議会の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、令和5年度の市政に臨む所信といたします。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

草加市長  
山川 百合子

## 出産・子育て応援給付金

☎保健センター ☎922-0200 ☎922-1516



▲市ホームページ



子育て費用の負担軽減を目的に、妊娠・出産の際に出産応援給付金、子育て応援給付金を支給します。また、妊娠初期から出産・子育てまでの必要な支援につなぐ相談支援も一体的に実施します。

■対象 令和4年4月1日以降に妊娠届を提出した人、生まれた子を養育している人。

■支給額 出産応援給付金：5万円（妊婦1人当たり）

子育て応援給付金：5万円（子1人当たり）

■申請方法 妊娠・出産後の専門職との面談後に申請書類を交付します。

①出産応援給付金 母子健康手帳交付時に面談後に交付

②子育て応援給付金 生後2か月頃の訪問（こんにちは赤ちゃん訪問等）後に交付

### 以下の人には3月下旬から申請書を送付します

申請書が届いたら、6月30日(金)までに必要書類を添付し申請して下さい。

2月1日以降に転入した人で、給付金を受けとっていない人は相談を。

令和4年4月1日～同5年1月31日に妊娠届を提出し、2月1日以降に出産予定の人

出産応援給付金の申請書を送付。子育て応援給付金の申請書は上記②の際に交付します。

令和4年4月1日～同5年1月31日に生まれた子を養育している人

出産応援、子育て応援給付金の申請書を送付。

## 新庁舎落成式に参加する 草加の未来を担う 学生を募集



現在建設中の市役所本庁舎の完成を祝い落成式を行います。この落成式では、市民の皆さんに愛される庁舎になることを願い、市の未来を担う学生の参加者を募集します。これから市民の皆さんに長く使われる庁舎の門出に立ち会ってみませんか。

■日時 4月22日(土)午前10時

■場所 市役所新本庁舎

■対象 市内在住・在学の小学生～大学生

■定員 小学生4人、中学生3人、高校生2人、

大学・専門学校生3人

応募者多数の場合は抽選。

☎3月24日(金)までに、電話または専用フォーム（QRコード）で総合政策課へ。☎922-0749 ☎927-4955



▲専用フォーム